

令和元年5月22日

在ミラノ日本国総領事館・警備

北イタリア治安情勢通報

クレジットカードを他人に触れさせては絶対ダメ！

～ 親切心を逆手に取られ、クレジットカードすり替え被害が続発中！ ～

ミラノ・マルペンサ空港やミラノ中央駅構内で「国際電話を使いたいのだが、自分のクレジットカードが使えない（持っていない）ので、代わりに試してくれないか」等と英語で話かけられ、その対応中に被害者のクレジットカードと犯人が所持している被害者と同じ会社のクレジットカードをすり替え盗まれる被害が続発しています。

この手口の巧妙なところは、親切心で行った行為がまさか犯罪被害に遭っているとは思わず、すり替えられたクレジットカードを被害者自身のものと勘違いし、被害認知が遅れてしまう点です（80～100万円近い被害報告もあり。）。

本連絡を参考に十分ご注意されるとともに、来伊される家族や知人、会社の同僚等広く注意喚起していただくようご協力お願い致します。

1. 犯人像

アフリカ系と思われる男性、25～35歳、身長180～190cm位、体格がっちり、身なりは整っており旅行者の風貌

2. 被害の状況

5月11日（土）午後6時頃、マルペンサ空港において、犯人は海外駐在員である被害者及びその同僚に対して「日本人だよね。JAL便に乗り遅れた。福島の方ナカさんに連絡をとるため国際電話を利用したいが、自分

のクレジットカードを使用できないので貸して欲しい」旨を英語で申し出るとともに、電話代として現金（20ユーロ）を手渡そうとしてきた（被害者は受領せず。）。申し出に応じた被害者が暗証番号を押すなど操作した後、犯人が当カードを触った際にすり替え盗んだ模様（注：犯人はいくつもの種類のクレジットカードを予め用意し、その中から巧みにすり替えたものと考えられます。）。暗証番号は、被害者が入力時に手で隠していたものの、窃視されたか、電話機にあらかじめスキミング装置を設置していたものと思料される。約1週間後、被害者がクレジットカードの利用明細を見て約100万円（利用限度額）の被害が発覚した。

3. アドバイス

○ クレジットカードは、他人に触らせない

これにつきます。路上で他人にクレジットカードを触らせるケースというのは、まず考えられません。

○ 路上等で声を掛けられたら犯罪の可能性を疑う

心苦しい助言になりますが、路上等での声かけが、スリ、置き引き等の手口でも多数見受けられるのが実状です。通行人等の申し出に対して、安全に対処する自信がなければ、自分の身を第一に考え、断固として立ち去りましょう。

4. 参考

クレジットカード犯罪の被害補償については、各クレジットカード会社で定められているところ、被害者に重大な過失があると認められた場合には補償外となってしまいます。万が一被害に遭われた場合には、クレジットカード会社や最寄りの警察署にご相談ください。

本通報に関する問い合わせ先

総領事館代表電話：02-6241141 info@ml.mofa.go.jp